

# 長野構成員ヒアリング資料

# 愛媛県南宇和郡愛南町の精神保健医療福祉

- 愛南町の概況
- NPO法人ハートinハートなんぐん市場の取り組み
  - 指定管理者制度、自立支援法を活用した日本版ソーシャルファームモデル
- NPO法人の基盤となった活動の歴史
  - 愛南町の精神障害者保健福祉 住民ネットワークと社会資源
- 地域精神科医療の取り組み
  - 入院医療中心から地域生活中心へ
- 課題～地方の現場で感じていること

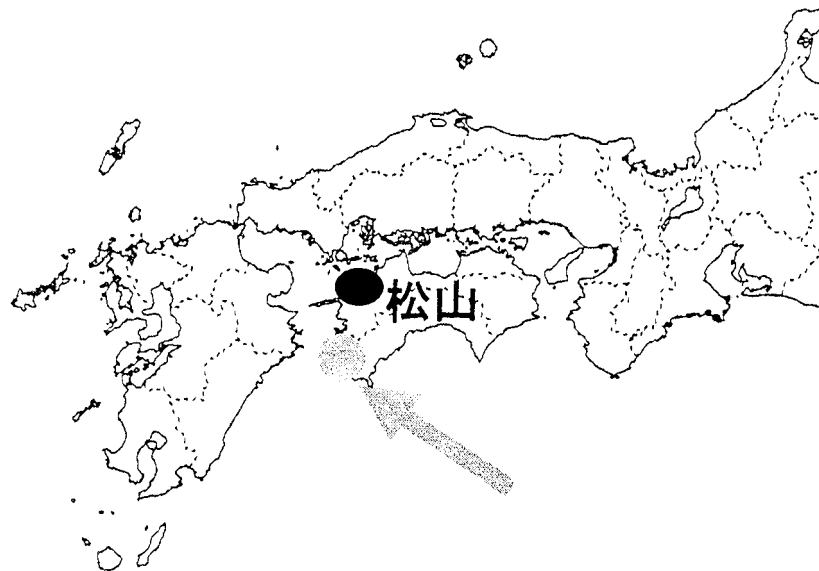
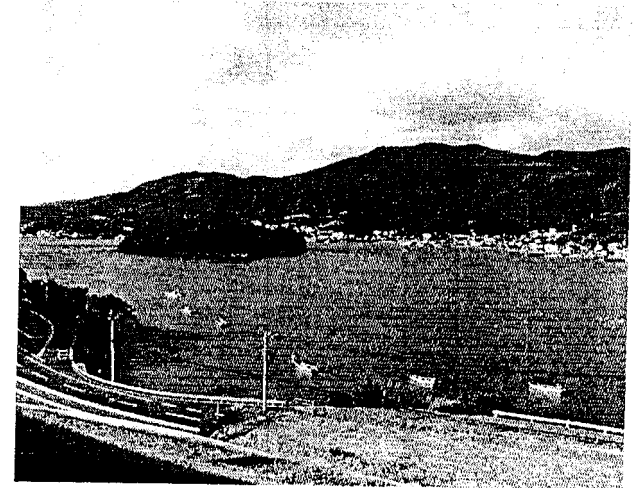
NPO法人ハートinハートなんぐん市場  
長野 敏宏

なんぐん

# 愛媛県 南宇和郡 愛南町

松山から自家用車で約3時間、JR宇和島駅まで45Km

人口 26,413人(平成20年6月) ← 31,080人(平成9年)  
10年間で約4,500人の減  
高齢化率 30.55%(平成20年4月 後期高齢者16.0%)  
要介護認定者 1,540人(平成20年3月)  
有効求人倍率 0.54(平成20年4月宇和島圏域)、(全国平均0.93)



四国 愛媛県



南宇和郡(なんぐん)5か町村が、H16年10月合併し、愛南町に

# NPO法人ハートinハートなんぐん市場

設立趣意(H18年4月)

- 様々な立場の住民が共に参画し、地域振興・環境保全・就労支援活動を通じて地域貢献を行いたい。
  - 障害の有無にかかわらず共に
- 地域活性化につながる産業を興したい。
- 私達の街がいきいきとあり続ける為に。

地域振興型障害者就労支援

# NPO法人ハートinハートなんぐん市場の特徴

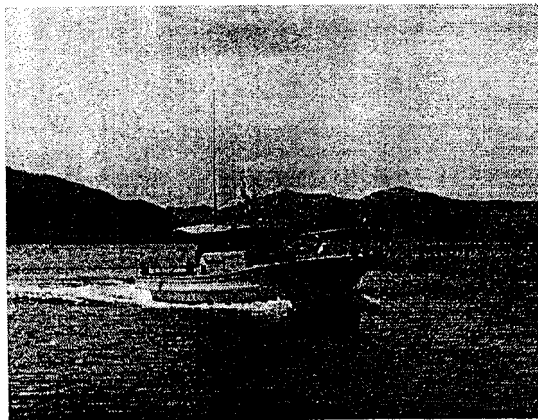
- 多職種の理事・中核メンバー(養殖業、清掃業、縫製業、植栽業、建設業、地元主婦、当事者、医療・福祉等)。
- H18年度障害者自立支援調査研究プロジェクトを機に指定管理者として「山出憩いの里温泉」の町の委託を受け、更に就労継続支援A型事業も活用して運営。
  - 全国で実践可能な一つのソーシャルファームビジネスモデル。(収益事業+指定管理者制度&自立支援法)
- 豊かな海・山の幸、温泉をご用意し、様々な研修や”人”をキーワードとしたニューツーリズム。地域の多分野の方々と協働しながら、愛南町に多くの人をお迎えしたいと計画、準備、実践を始めている。

# NPO法人の事業

(特定非営利法人名)

ハート in ハート  
**なんぐん市場**

ヒト・モノなど「なんぐんエリア」ならではの資源に着目した新たな事業創造を通じて、人的交流の拠り所となる活動を多彩に展開。地域の活性化、障害者の雇用促進につなげていく。こうした活動の成果、新たなビジネスモデルを、地域はもとより全国に発信していくことによって、「なんぐんエリア」の人々を核とした交流の輪を地域から都市へ、全国へと広げていく。



(各事業サービス名)

**ECOshop**

なんぐん市場

- リサイクルショップ運営
- 竹炭の製造・販売

**ECOterior**

なんぐん市場

- 観葉植物レンタル
- 自然体験交流イベント運営
- 就労継続支援A型事業

**ECOvillage**

なんぐん市場

- 温浴施設運営
- 交流型観光サービスの創造

**ECOMarine**

なんぐん市場

- 御荘がき等海産物販売
- 海洋型体験イベント運営

なんぐん丸

法人所有の体験交流の為の船。釣り、マリンレジャー、夕暮れクルージング、星空クルージングなどがおすすめ。

# 山出憩いの里温泉(指定管理受託施設)の概要

- 温泉・大浴場
  - 低張性アルカリ性冷鉱泉
- ふれあい交流館
  - レストラン遊花亭
  - 家族風呂
    - バリアフリー
  - 和室6畳
  - 和室60畳
  - トイレ(バリアフリー)
- 宿泊
  - 和室(8畳キッチン付)3室

- キャンプ場・自然公園
  - 芝サイト2
  - ウッドサイト5
  - ログハウス4棟



# 平成19年度 障害者の就労状況(NPO法人全体)

【平成20年6月10日現在】

市町村	障害種別	部門	業務内容	就職月	退職月	訓練期間	自立支援法の利用期間	就職までの紹介機関
愛南町	精神	温泉	施設清掃全般	4月	10月	14日	6ヶ月間(就労A)/3ヶ月(就労B) +アルバイト	小規模作業所/医療機関
愛南町	精神	温泉	施設清掃全般、温泉受付	4月		14日	14ヶ月(就労A)	医療機関
愛南町	精神	温泉	温泉受付、販売、リネン	4月		14日	14ヶ月(就労A)	医療機関/ハローワーク
愛南町	知的	温泉	施設清掃全般、温泉受付	4月		25日	14ヶ月(就労A)	養護学校/相談支援事業所/ハローワーク
愛南町	身体	温泉	レストラン調理	4月		14日	14ヶ月(就労A)	ハローワーク
愛南町	精神・知的	観葉植物	配達、営業、植物管理	4月	9月	25日	4ヶ月間(就労A)	社会復帰施設/ハローワーク
愛南町	精神	観葉植物	配達、植物管理	4月		14日	14ヶ月(就労A)	医療機関/ハローワーク
愛南町	精神	観葉植物	配達、植物管理	4月		14日	14ヶ月(就労A)	医療機関/ハローワーク
愛南町	知的	温泉	施設清掃全般、調理補助	4月		14日	14ヶ月(就労A)	養護学校/相談支援事業所/ハローワーク
愛南町	知的	観葉植物	配達、植物管理	4月		25日	14ヶ月(就労A)	相談支援事業所/ハローワーク
愛南町	精神	事務	一般事務、会計、ピアサポート	4月		0日	0日	医療機関
宇和島市	精神	観葉植物	配達、植物管理	2月		2日	4ヶ月間(就労A)	グループホーム/相談支援事業所/ハローワーク
愛南町	精神	温泉	施設清掃全般	2月		2日	2ヶ月間(就労B)/1ヶ月間(就労A)	就労B事業所/相談支援事業所/ハローワーク

※施設清掃全般(浴場・トイレ・館内フローア清掃など。宿泊時のシーツ等の入れ替えも含む)





# 障害者就労支援に指定管理制度を活用するメリット

## なんぐん市場(障害者福祉・受託側)

- 既存の公共施設を活用
- 低リスク(初期投資等)
- 当事者自身が住民サービスを担う
  - 社会参加の推進
  - 地域にとってなくてはならない人に
- 官民協働の実践
- 福祉から地域振興へ
  - ~更に広がるネットワーク
- 地域特性を活かし全国で展開可能

## 愛南町(自治体・委託側)

- 設置目的(観光福祉施設)に合致し、住民・議会からの評価や賛同が得やすい。
- 組織・財政基盤が脆弱なNP〇の財源が確保され安定した運営に。
- 就労支援事業により、人員や組織活動原資が増加し雇用の拡大につながる。
- 地域福祉の向上、知名度向上等の地域活性化への複合的効果が期待できる。

# 課題

- 指定管理者同士の横のネットワークが少なく、情報が乏しい。
- 温泉経営、飲食業、アウトドア、観光業等多分野に渡る経営確立を短期間で求められている。
  - 重油をはじめとした著しいコスト上昇
  - 資金調達の課題
- まだ、“走りながら考える”状況。

# 愛南町の精神障害者福祉 住民ネットワークと主な社会資源 (資料参照)

『共に生きる街なんぐんへ』という  
共通の目標に向かって、  
“緩やかなネットワーク”を形成している。

H8年

ありんこくらぶ(発達障害支援等)

● プラザじょうへん  
(城辺町→愛南町)ボランティア連絡会

● なんぐん地域ケア研究会(南宇和医師会主催)

● 認知症の人と  
家族の会

H4年

● 当事者クラブ「あじさい」

H元年

H8年

● リサイクルショップなんぐん市場 ● NPOなんぐん市場  
「進める会」南宇和福祉リサイクル活動 (就労A+指定管理温泉施設)

南宇和精神障害者の社会参加を進める会 → (H18年)南宇和障害者の社会参加を進める会

S62年

● 南宇和精神衛生を考える会

→ 南宇和心の健康を考える会

S55年

● S57作業所たちばな  
● 精神障害者家族会「たちばな」

● たちばな憩いの家  
● リサイクルショップほっとたいむ  
→ ● 就労継続支援B型  
● NPOたちばな

空き家、空き店舗を活用して、街中を中心に  
様々な拠点を点在する形で立ち上げてきた。

H19 小規模多機能型居宅介護アロハ(共生型特区申請中) ●  
H18 地域密着(単独) 認知症デイサービス結い ●  
● H13 グループホームひかり荘 ●  
● H12 地域生活支援センターいろり → 地活+相 ●  
● H11 社会復帰施設平山寮(福祉ホームB) (三障害) ●

● 御荘保健所

● 御荘病院

● S49 社会復帰施設平山寮(共同住居)

グループホームを経て

S37年

H元年

H10年

# 地域精神科医療の取り組み

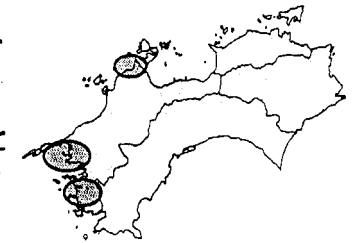
## (財)正光会 御荘病院

- S37年 60床で設立
- S39年 116床
- S63年 149床

現在

## 母体の財団法人について

宇和島(345床)、今治(345床)と愛南の3地域に精神科病院と社会復帰施設など



病床数 80床(移行期～H21年4月まで)

精神一般 15:1 補助看護10:1

大規模デイケア 定員22名、病院訪問看護(180～220件/月)

外来実数 約600名(平均40～50名)、平均在院日数 223.1日

精神科単科、一地域一病院で24時間対応。

S40年代から地域ネットワークや住民活動に力を入れてきた。

H8年からアウトリーチサービスの充実と共に、

地域の受け皿づくりと病床のダウンサイジングに取り組んできている

認知症の医療や福祉に地域包括支援センター等との連携により取り組み。

専門性の向上が大きな課題